

「～のです」と「～んです」 PDF转换可能丢失图片或格式  
，建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/147/2021\\_2022\\_\\_E3\\_80\\_8C\\_EF\\_BD\\_9E\\_E3\\_81\\_AE\\_E3\\_c105\\_147545.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/147/2021_2022__E3_80_8C_EF_BD_9E_E3_81_AE_E3_c105_147545.htm) : 高校「日」第3の第1に以下の会文が出てきます。 a. 「奈良の像についてべる宿があるんです。」(生徒) b. 「それで、いろいろ伺いたいことがあるんですが、いいですか。」(生徒) c. 「どうして日本に来られたんですか。」(生徒) いずれも「んです」という表ですが、このは会ですから、以下の文もすべて「んです」に置きえることはできませんか。 d. 「でも、どうしてこの寺の像をべようと思ったのですか。」(僧) e. 「目はじているのではなくて、えないのです。」(僧) f. 「それから、12年後に日本に来られたのです。」(僧) ここでの用法も含めて明してください。 答：この「の(ん)だ」は、「映画をるのが好きだ」のように名を作る「の」とって、「の」が独立性を失って??の(ん)だ??という形で、し手の持ちを表します。ふつうき言では「のだ」、し言では「んだ」が使われる向にあります。上のは、し言だから「んです」でもいいのではないかという趣旨のだと思います。かに文法的には、すべて「んです」にしてもっていません。ただ、この面は、高校生が僧にインタビューし、僧がそれに答えて、真のことを明する面です。僧がきちんとしているイメージを表すために、僧のには「のです」を多くしました。「のです」を用いると、丁寧さが加わるからです。一方、高校生の中では、高校生のし方に近づけ、その自然さを出すために「んです」を用いました。「のです」

と「んです」を使い分けることによって、者の持ちやを出しました。「の(ん)だ」の用法についててみましょう。

1.の切り出し 新たなを提出する前提やきっかけを切り出すために、そのの背景を表します。aがその用法にあたります。生徒がこれから僧に奈良の像についてきたいという、を切り出す役割があります。

2.明や理由づけ 「の(ん)だ」の文は、前提になるや状について、し手が「明」や「理由づけ」をする能があります。b、e、fがそれにあたります。eでは、「目をじているのが不思議」だという前提のがあって、それに基づき「目はじているのではなくて、えないのだ」と明する能として「のだ」が使われています。

3.き手に明を求める 例えば、「どうして~のですか」というき方で、の内容やそのの状などにして、き手に何らかの明を求めるとい用法があります。cとdがそれにあたります。ただし、この合、をつけなければならないことがあります。例えば、「先生は今年、中国に行ったんですか」という形をの前提がないのに使うと、中国に行ったかどうかを疑う持ちを含むことがあります。それによって、き手に不快な感じを与えたりします。また、音声的にも「の(ん)ですか」の部分をする、しているようにこえたりするのでをつけましょう。

100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)